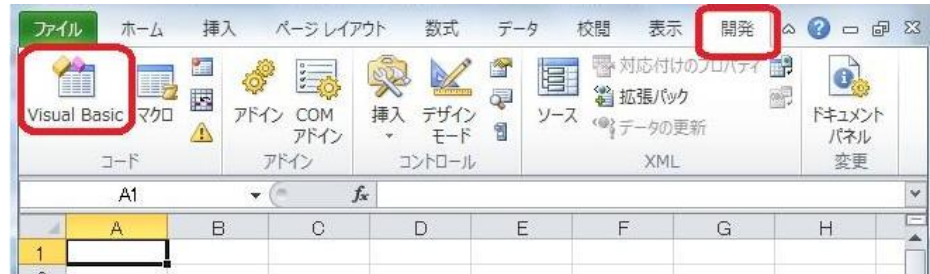


REX-USB220 の VBA での関数呼び出し方法について

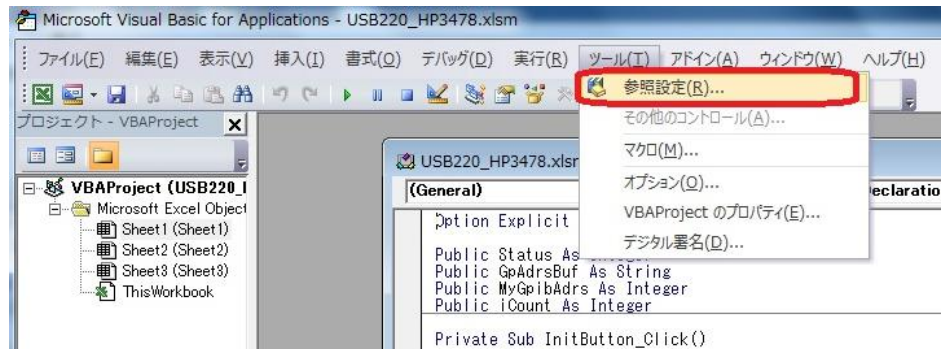
本ドキュメントでは、VBA(Excel2010)にて REX-USB220 制御用のライブラリ関数を呼び出す方法について説明しています。

Excel シートの「開発」タブを選択し

「Visual Basic」をクリックすると、VBA の開発環境が表示されます。



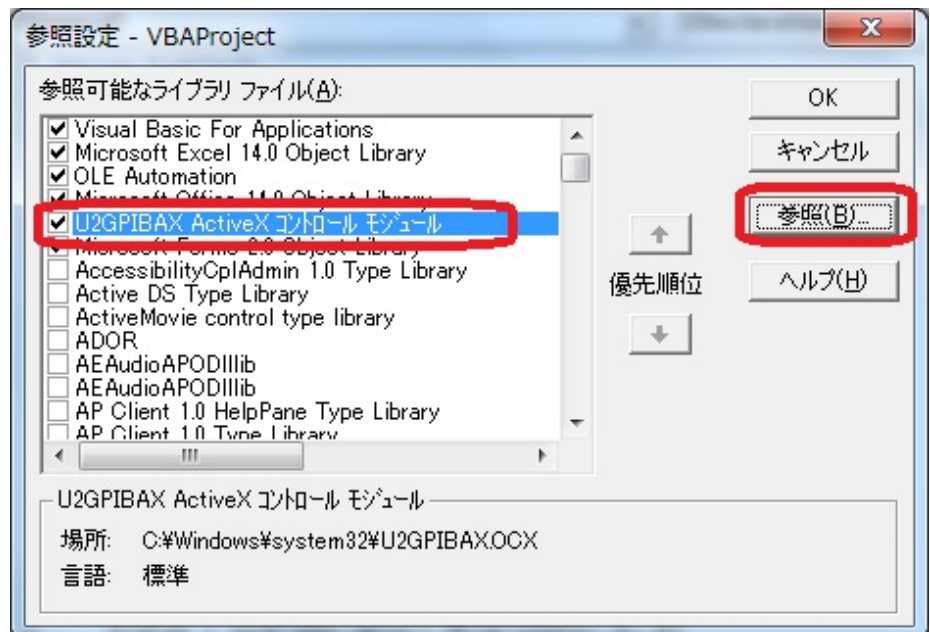
「ツール(T)」で「参照設定(R)」をクリックします。




「参照(B)」をクリックし [C:\Windows\system32\U2GPIBAX.OCX] を指定します。

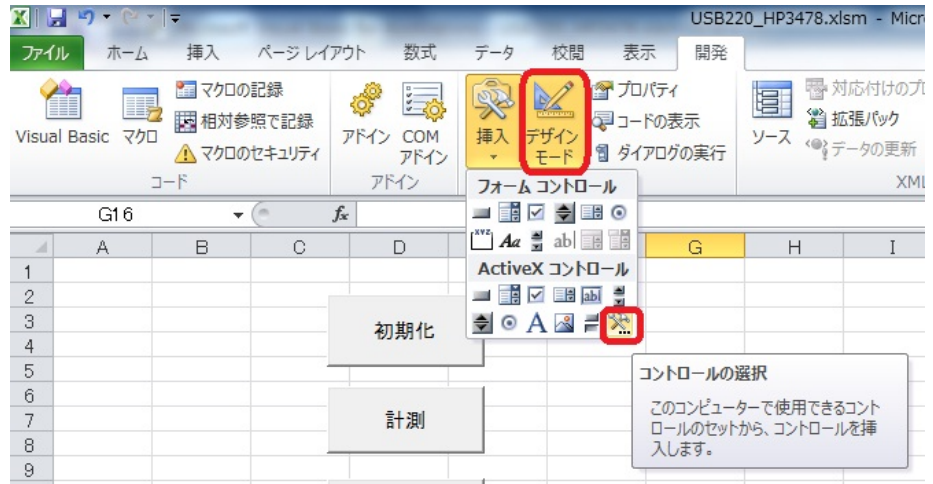
参照可能なライブラリファイルに

「U2GPIBAX ActiveX コントロールモジュール」が表示されますので、チェックを入れ「OK」をクリックします。

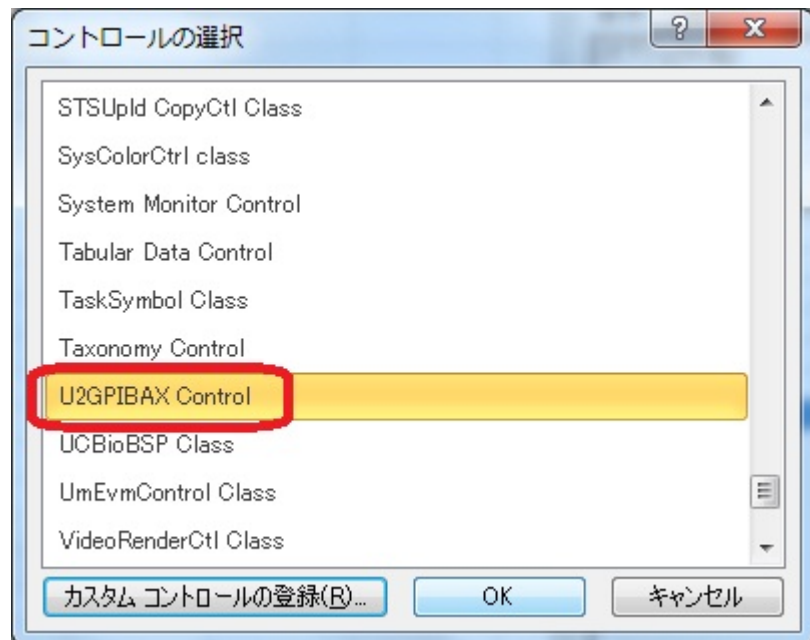


Excel シートで「デザインモード」に変更し

「挿入」の「ActiveX コントロール」右下にあるをクリックします。

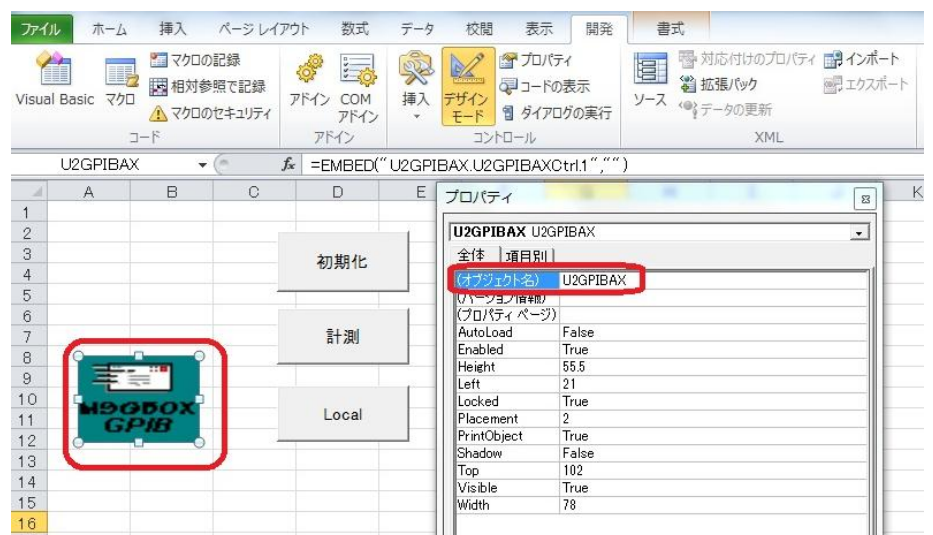


「U2GPIBAX Control」を選択し「OK」をクリックします。



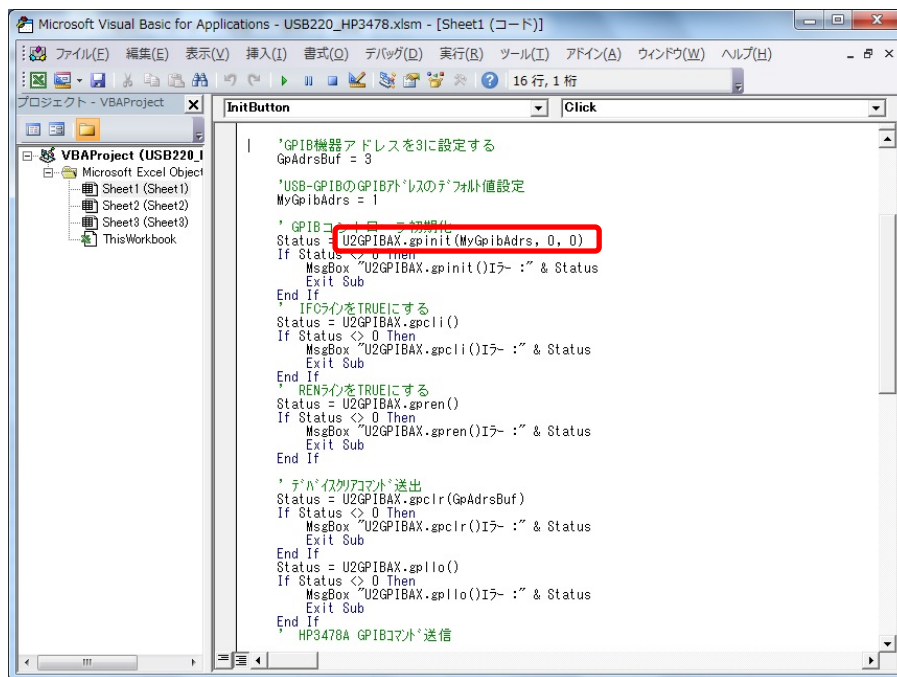
Excel シート内に本製品の ActiveX コントロールを描画できる状態となっています。

(ActiveX コントロールのプロパティ内でオブジェクト名を任意に変更することができます。)



例では、オブジェクト名を「U2GPIBAX」と定義していますので、U2GPIBAX.xxx()とVBと同様に関数を呼び出します。

(例えば、gpinit()を呼び出す場合はU2GPIBAX.gpinit()と記述します。)



以上